

マイクロマシン/MEMS 分野関連 経済報告 2021 年 3 月号

2021 年 3 月 1 日
(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン/MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 令和 2 (2020) 年 12 月分 (速報) の概要

(内閣府、経済社会総合研究所 令和 3 (2021) 年 2 月 5 日発表 より抜粋)

- ① 12 月の CI (速報値・平成 27(2015)年=100) は、
先行指数 : 94.9、一致指数 : 87.8、遅行指数 : 91.7 となった。

先行指数は、前月と比較して 1.2 ポイント下降し、**7 か月ぶりの下降**となった。
3 か月後方移動平均は 0.54 ポイント上昇し、6 か月連続の上昇となった。
7 か月後方移動平均は 2.33 ポイント上昇し、4 か月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 1.2 ポイント下降し、**2 か月連続の下降**となった。
3 か月後方移動平均は 1.00 ポイント上昇し、6 か月連続の上昇となった。
7 か月後方移動平均は 2.30 ポイント上昇し、3 か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.7 ポイント上昇し、**3 か月ぶりの上昇**となった。
3 か月後方移動平均は横ばいとなった。
7 か月後方移動平均は 0.03 ポイント下降し、17 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI 一致指数) は、下げ止まりを示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ▶ 景気動向指数「令和 2 (2020) 年 12 月分 (速報) の概要」pdf へ :
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202012psummary.pdf>

※尚、2 月 25 日付で「令和 2(2020)年 12 月分速報からの改訂状況」が公表されています。
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/revision.pdf>
(<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202012rsummary.pdf>)

- ▶ 内閣府「景気統計」関連 TOP ページ :
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/menu.html>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（2月）（内閣府、令和3年2月19日（金）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

<日本経済の基調判断>

（現状）【下方修正】

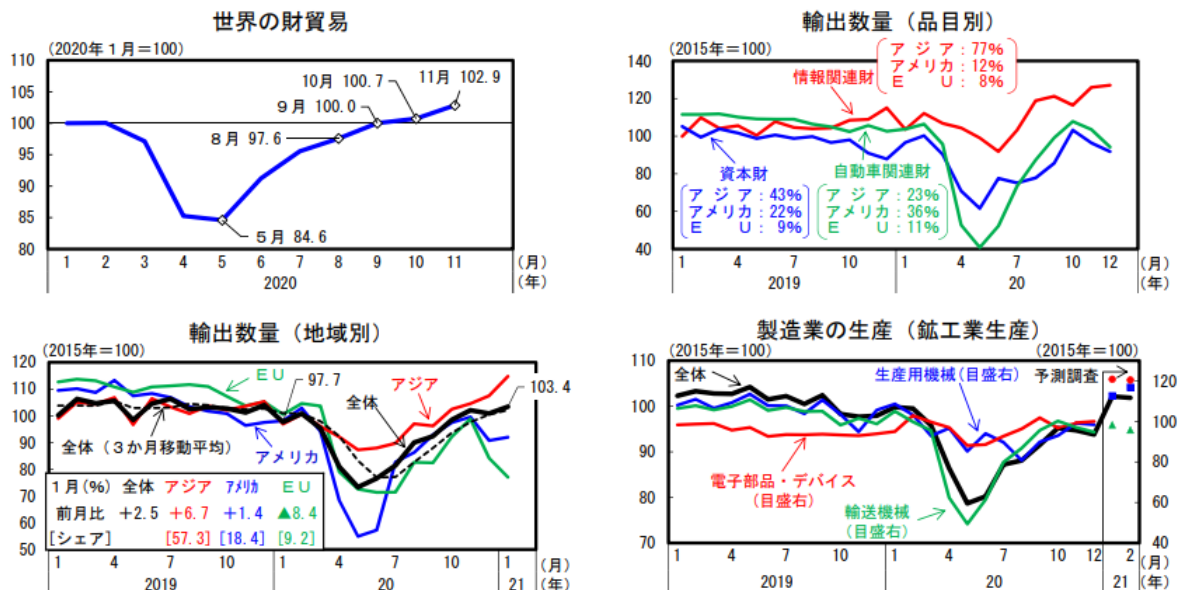
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月のポイント(3) 輸出・生産

- 世界の財貿易は、9月以降、コロナ前の水準を回復。我が国の輸出も、アジア向けにけん引される形で増加し、コロナ前の水準を回復。品目別にみると、自動車関連財は、各国での生産や在庫水準の回復に伴い増勢に一服感。一方、アジア向けが多くを占める情報関連財は好調維持。
- 製造業の生産は、5G関連などで需要が旺盛な電子部品・デバイス等を中心に持ち直しが続く。



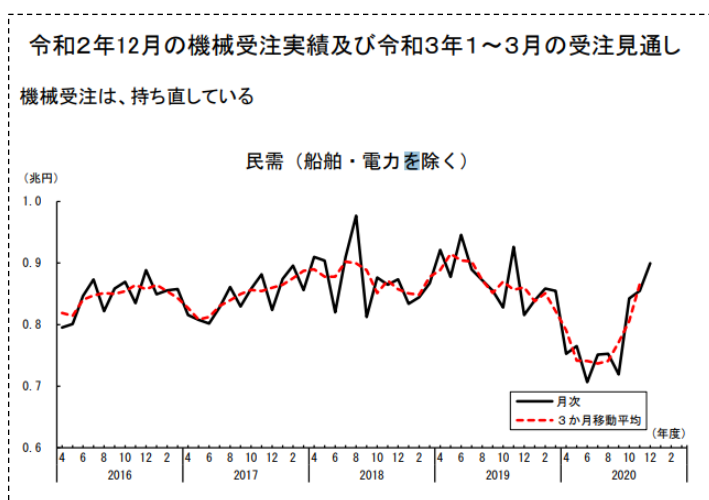
(備考) 1. 左上図は、オランダ経済分析総局により作成。81か国（世界貿易の約99%を占める）を対象とした、輸出量と輸入量の平均。
2. 左下図及び右上図は、財務省「貿易統計（1月速報）」により作成。内閣府による季節調整値。EUは全期間にわたり英国を除く27か国ベース。各シェアは2020年の金額シェア。各財の輸出全体に占める割合は、情報関連財16.8%、資本財14.0%、自動車関連財16.9%。
3. 右下図は、経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。鉱工業生産全体に占める各産業のシェア（2015年）は、輸送機械18.0%、電子部品・デバイス5.8%、生産用機械7.1%。

詳細は以下より内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」をご参照下さい。

- ▶ 2月例経済報告資料 pdfへ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/02kaigi.pdf>
- ▶ 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年12月実績：機械受注統計調査報告
 (令和3年2月17日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年11月前月比1.5%減の後、12月は同8.8%増の2兆4,662億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比16.7%増の1兆627億円、官公需は同30.0%増の3,240億円、外需は同1.6%増の9,940億円、代理店は同6.4%増の1,090億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年11月前月比1.5%増の後、12月は同5.2%増の8,996億円となった。このうち、製造業は同12.2%増の3,874億円、非製造業（除く船舶・電力）は同4.3%増の5,327億円となった。



対前月(期)比 (単位:%)

期・月 需要者	2020年 (令和2年)				2021年 (令和3年)		2020年 (令和2年)			
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	9月 実績	10月 実績	11月 実績	12月 実績	
受注総額	3.9	△17.7	7.8	14.9	△4.8	△4.4	9.7	△1.5	8.8	
民需	△5.1	△8.4	1.9	5.9	△5.0	△0.3	5.7	△7.0	16.7	
〃(船舶・電力を除く)	△0.7	△12.9	△0.1	16.8	△8.5	△4.4	17.1	1.5	5.2	
製造業	1.8	△16.6	3.0	15.3	△13.3	2.0	11.4	△2.4	12.2	
非製造業(除船・電)	△5.1	△9.7	△2.5	19.3	△6.8	3.2	13.8	5.6	4.3	
官公需	25.5	2.5	△14.6	3.0	△2.3	20.0	△22.7	0.4	30.0	
外需	8.7	△32.1	28.4	26.0	△5.2	△16.7	20.7	5.9	1.6	
代理店	3.6	△17.0	1.6	6.4	8.0	2.7	6.9	△6.6	6.4	
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	4.1	4.4	7.5	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. △印は減少を示す。
 3. 見通しは2020年12月末時点の調査。

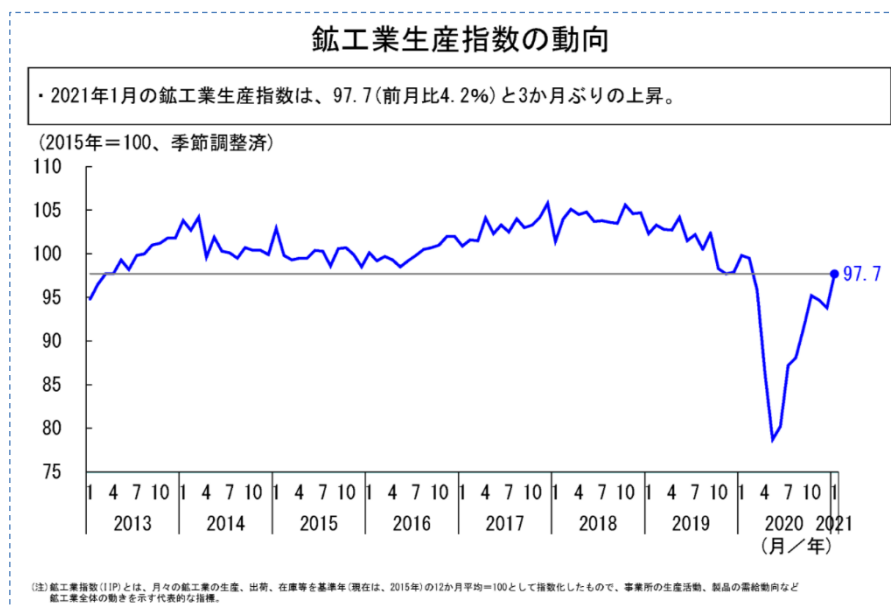
詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ▶ 令和2年12月実績：機械受注統計調査報告
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2012juchu.html>
- ▶ 概要 pdf：<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2012gaiyou.pdf>
- ▶ 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

- 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)
 ～製造業の動きから見る日本の景気～
 (経済産業省 公表 鉱工業指数関連「結果の概要」ページ
 <<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>> より抜粋)

【結果の概要】

- ① 2021年2月26日発表【2021年1月分】(速報)より
 - 生産は持ち直している —
 - ・ 今月は生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下であった。
 - ・ 製造工業生産予測調査によると、2月は上昇、3月は低下を予測している。
 - ・ 総じてみれば、生産は持ち直している。
 - ・ 鉱工業生産は、前月比4.2%の上昇。
 - 上昇業種： 汎用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業等
 - 低下業種： 輸送機械工業(除.自動車工業)、石油・石炭製品工業
 - ・ 鉱工業出荷は、前月比3.2%の上昇。
 - 上昇業種： 自動車工業、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等
 - 低下業種： 輸送機械工業(除.自動車工業)、石油・石炭製品工業
- ▶ 2021年1月の鉱工業指数(速報) pdf資料(経済産業省 HP リンク) : https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202101sj.pdf



「当月公表 IIP を解説」より
https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20210226_1.html

- ② 2021年2月15日発表【2020年12月分】(確報)
 - ▶ 2020年12月の鉱工業指数(確報) pdf資料(経済産業省 HP リンク) : https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202012kj.pdf

詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 鉱工業指数 (トップページ)
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/index.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2021年2月26日発表より抜粋)

【2020年12月動向概況】

- ・ 2020年12月のグローバル出荷額は3,433億円、前年比111.8%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比114.9% 1,508億円）、接続部品（同102.7% 840億円）、変換部品（同120.7% 602億円）、その他の電子部品（同109.2% 481億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比101.9% 731億円）、米州（同107.4% 297億円）、欧州（同114.3% 273億円）、中国（同116.3% 1,406億円）、アジア・その他（同115.4% 727億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2021.02.26 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	10月		11月		12月		4月-12月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	3,355	103	3,511	111	3,433	111	27,514	97
(日本)	742	103	745	106	731	101	5,903	91
受動部品	1,450	107	1,532	115	1,508	114	12,325	103
コンデンサ	1,059	111	1,111	116	1,091	116	9,040	106
抵抗器	126	104	126	109	131	112	1,040	95
トランス	31	98	32	104	32	102	266	88
インダクタ	231	94	259	119	248	112	1,946	98
その他	2	52	2	66	5	127	32	108
接続部品	863	102	870	104	840	102	6,818	90
スイッチ	354	101	354	102	335	105	2,687	81
コネクタ	506	102	512	106	500	100	4,105	97
その他	2	95	3	99	3	133	26	78
変換部品	579	101	620	113	602	120	4,391	88
音響部品	102	78	100	79	105	98	814	76
センサ	212	102	224	109	224	112	1,709	94
アクチュエータ	264	114	296	137	272	141	1,868	89
その他の電子部品	461	97	487	106	481	109	3,978	103
電源部品	167	109	174	111	169	110	1,430	103
高周波部品	293	91	313	103	311	108	2,547	103

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2020年度»

地域別出荷金額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	10月		11月		12月		4月-12月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,355	103	3,511	111	3,433	111	27,514	97
日本	742	103	745	106	731	101	5,903	91
米州	324	101	308	107	297	107	2,461	85
欧州	326	97	332	108	273	114	2,358	83
中国	1,272	105	1,407	114	1,406	116	11,255	110
アジア他	695	105	723	113	727	115	5,570	94

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上